

# チャペルコンサート

～ ソプラノ&ギター デュオ

涙のパヴァーヌ ～

ソプラノ/作田美穂子    ギター/牧野哲仁

2006年12月8日(金)

午後2時開演

沖縄都ホテル 虹のチャペル



## ごあいさつ

本日は、暮れのお忙しい中、ご来場いただきありがとうございます。

今回はご指導いただきました先生方やこれまでの公演を応援してくださいました皆様方に、感謝の気持ちを込めてのご案内となりました。また、沖縄都ホテル様のご好意により、初のチャペルでの開催となります。

プログラムは、シェークスピア時代の古い珠玉のリュートソングを中心に厳選し、後半におなじみの華やかな技巧のロッシーニの歌曲やカルカッシのギター独奏曲などを取り入れました。

どうぞ最後までごゆっくりお過ごし下さいませ。

2006年12月8日  
作田 美穂子

～ プログラム ～

第1部 ダウランド リュートソングより

メランコリーガリアード (ギターソロ)

ダウランド作曲

もし私の歎きが

甘い愛が呼んでいる

流れよ わが涙

ハンズドン卿夫人のパフ (ギターソロ)

ご婦人方 小間物はいかが



～ 10 分間の休憩 ～



第2部 ロッシーニ 歌曲より

ナポレオン2世の愛せし円舞曲 (ギターソロ)

カルカッシ作曲

約束

ロッシーニ作曲

誘い

カンシオン・イタリアーナ (ギターソロ)

カルカッシ作曲

別れ

ロッシーニ作曲

狂宴

## ～ プロフィール ～

### 作田美穂子(ソプラノ)

琉球大学教育学部音楽科卒業。国立音楽大学大学院声楽科修了。母校である昭和薬大附属高校勤務を経て現在、音楽教室ラルゴ主宰。

第1回おきでんシュガーホール新人演奏会入賞。以後、多くのコンサートや音楽祭、オペラ公演に出演、好評を得る。また、ピアノ以外の楽器とのアンサンブルにも積極的に取り組み、古楽からロマン派の声楽作品まで幅広いレパートリーをとりいれた独自のコンサート企画・演奏もおこなっている。

### 牧野哲仁(ギター)

13歳からギターを始め、小禄高校在学中はギタークラブに在籍、古堅良雄氏に師事。昭和51年那覇市民会館にてジョイントコンサートを開催、翌年、九州ギター音楽コンクールに参加、沖縄初の第3位入賞。昭和54年第1回リサイタル、以後これまでに4回のリサイタルや多くの演奏会に出演。

現在、新都心天久にてギター教室を主宰し、公民館等のギターサークルの育成と指導に務めている。

## ～ プログラムノート ～

リザベス王朝を代表するリュート奏者・作曲家でもあるイギリスのジョン・ダウランド（1563～1626）。

彼の詩のテーマは常に涙・かなわぬ愛・別れ・絶望・死であり、代表作「涙のパヴァーヌ（流れよわが涙）」の美しくも憂いに満ちた旋律は、ダウランドの名を音楽史の中に深く刻み込んだ。

### メランコリーガリアード

3拍子の宮廷舞曲ガリアード様式で、繊細な情感を漂わせるリュート独奏曲。

### もし私の歎きが

「愛の神よ、私の歎きであの人の愛を揺り動かしておくれ」

### 甘い愛が呼んでいる

「甘く響きあう愛の喜びよ、ふたたび・・・」

### 流れよ わが涙

「流れよわが涙 永遠にさすらいながら 闇の中ただ一人 生きていこう」

### ハンズドン卿夫人のパフ

4拍子の宮廷舞曲アルマント様式で、明るく軽快なリュート独奏曲。

### ご婦人方 小間物はいかが

「安くて素敵なお小間物はいかが！正直物はそれほどじゃないけれど、真心だけは本物さ」



イタリアのマテオ・カカッシ(1792~1853)は当代人気のギタリストで「カカッシギター教則本」は広く活用されている。同じくイタリアのジョアッキーノ・ロッシニ(1792~1868)は36歳で早々とオペラ作曲を終えた後、崇拜者達のために数多くの歌曲をかいた。

### **ナポレオン2世の愛せし円舞曲**

カカッシ作曲のナポレオンによせるギター独奏曲。

### **約束**

情熱的な愛の誓いを軽やかな旋律にのせてうたう

### **誘い**

愛する人を自分の許へいざなう女心をうたう

### **カンシオン・イタリアーナ**

2部形式の主題を持つ2つの変奏とコーダからなるギター独奏曲。

### **別れ**

恋人との別れの心境を切々とうたう

### **狂宴**

酒と女を称えた底抜けの歌である